



平成31年度 第1回共同機構研修会

平成31年4月24日(金)

見えない心の動きをどう捉えるか

— 関係性を分断しない保育の見方が必要 —

講師 鯨岡 峻 京都大学名誉教授



皆さんは「子どものことをもっと理解しよう」と思うときに、その子が何をするか、何を言うか、何が出来て、何が出来ないかをしっかりと見ようとされているのではないのでしょうか。そのこと自体は決して間違いではありませんし、必要なことでもあります。子どもの行動面を捉えるにはそれで十分でしょう。しかし問題は、そのようにして子どもを対象化して捉えようとする、目に見えない心の動きは捉えられなくなってしまいます。心の動きを捉えるためには子どもと保育者の関係性を分断してしまってはなりません。なぜなら、その子の心の動きは、その子に接している保育者がその関係性の中でしか感じ取ることができないからです。

そもそも心とはどのようなものなのでしょうか。自分の興味や関心や欲求を追い求めようとする欲求と誰かと気持ちを繋いで安心感や満足感を得たい欲求の2つの欲求が常に子どもの内部で動いています。それを満たそうとして、あるいは満たすことができなくて、様々な正負の心の動きが生まれてくると考えることができます。運動能力や認知能力はいったん定着してしまえば、よほどのことがない限りそれが簡単に崩れるということはほとんどなく、累積していくと考えることができます。けれども、心は、この心が育ったから次にその上にこの心が育つというように積み重ねられて育っていくものではありません。信頼感のような大事な心の育ちでさえ、関係のありよう次第では、崩れて不信感に転じてしまうことがあります。ですから、どの子どもも2つの基本的欲求が満たされるか否かによって、願わしい姿ばかりではなく、負の姿や負の心の動きをもしばしば示すことになるのです。子どもが失敗したり挫折したりした時に、その子の負の自己感、つまり、自信喪失や劣等感や自己不信感を助長しないように、いかに前に向かおうと思う気持ちを支えてやるかが大人にとっての問題です。子どもの負の気持ちを共感して受け止め、いかに心を砕いて、その子の気持ちが何とか前向きになれるように働きかけを工夫するか、そこに保育者の対応の在り方が大きなカギを握ってきます。



講義の詳細は、要録ページをご覧ください。 [要録ページへ](#)

共同機構研修会 語り合いが熱い！！

平成30年度の共同機構研修会は、「講義型」と「参加型」の研修会を開催しました。

「参加型」研修会では、提案や報告をうけて感じたことや子どもへの思い、日々の実践や取り組みなどを話し合ってみましょう！そして、ちょっとお顔なじみになれたら…と、そんな願いをもって座席近くの方と話し合っていました。

平成30年7月18日
気持ちに寄り添う子育て支援



平成30年8月3日
子どもの心の育ちを共有し、
心を育む保育・教育を広げ、実践しよう



研修会
の様子

さすが先生方！ 子どものことや日々の実践を熱く語っておられました。

これらの研修を通して・・・

御参加いただきました皆様より「話し合えてよかった」「また、ぜひ」とたくさんの御意見をいただきました♪ ほんの一部ですが、紹介させていただきます。

園の先生方と話す機会
がないので貴重な時間
でした（学校の先生）

学校での様子が聞けて
安心しました
（園（所）の先生）

参加して良かった
（園（所）の先生）

語り合うこと
で、思いを巡
らせて・・・

子どものことが、話せて良
かった
（園（所）・
学校の先生）

もっと、話し合いたい
（園（所）の先生）

具体的な取組が聞けました
（園（所）・学校の先生）

いろいろな意見が聞けて良
かった（関係機関の方）

《もっと 語り合きましょう！！》

昨年度の取組や参加していただいた皆様方の御意見や御感想を参考にさせていただき、今年度も、語り合うことを大事にした研修会を開催しています。研修会での様子を紹介させていただきます。

6月14日 公開保育研修会より



視点をもったの保育参観、その後、具体的な子どもの姿や援助の在り方、環境等を話し合うことでたくさんの学びが得られました。

7月29日 保幼小合同研修会より



互いの取組や実践を話し合えて、子どもを思う気持ちは同じだと思いました。これからも一緒に子どものことを見守り、取り組んでいきたいです。

8月28日 特別研修会より



様々な職場や職種の方と話せて、視野が広がりました。明日からの保育に活かしていきます。

9月6日 夜間講座より



グループで語り合ったことを報告しました。報告し合うことで気づきや学びがさらに深まりました。

語り合うことを大事にした研修会では



- ・講義や報告を受け、話し合うことで自分の実践と関連させて考えることができる。
- ・見方や視野が広がったり深まったりする。
- ・「自分の学び」から「仲間の学び」へ広がる。 . . . など期待できます。

今後の予定 . . . 御参加、お待ちしております。

《語り合う研修会》

11月 7日 こんなときあなたならどう寄り添いますか（グループ討議・講義）

講師 京都大学大学院教授 大倉 得史さん

《開館 20 周年記念講演 夜間講座》

11月29日 子ども・大人の心が育ちあう保育 ～2歳児を中心に～

講師 非営利団体コドモノミカタ代表理事 乳幼児教育実践研究家 井桁 容子さん

《今日的課題に応じた講演会》

令和2年1月29日 保幼小連携・接続をするのは何のため？

講師 國學院大學教授 文部科学省視学委員 田村 学さん

こどもみらい館 第5期研究プロジェクト スタート

令和の時代の幕開けと共に、第5期研究プロジェクトがスタートしました。

保育園（所）・幼稚園，私立・市立・国立の垣根を越えた「共同機構」として，保育内容の更なる充実・発展や子育て支援を目指し，研究事業を推進します。



研究メンバー

池添 鉄平（たかつかさ保育園）	岩下 萌（京都市立京極小学校）
太田 美佳子（アソカ幼稚園）	川崎 哲兵（京都市立下京雅小学校）
北川 智美（京都市立錦林小学校）	木村 登世子（青風和泉幼稚園）
田中 康雄（光明幼稚園）	津田 要（京都市久世保育所）
長坂 由美（京都市壬生保育所）	服部 いづみ（京都市立伏見板橋幼稚園）
藤井 輝（京都市南保育所）	向瀬 麻由佳（京都市立京極幼稚園）
村山 里奈（京都市立中京もえぎ幼稚園）	（五十音順，敬称略）

スーパーバイザー 鯨岡 峻（京都大学名誉教授）

研究アドバイザー 大倉 得史（京都大学大学院教授）

公募による保育士・幼稚園教諭，そして心の育ちの連続性を語るうえで欠かせない小学校教諭が加わった13名に委員を委嘱し，6月26日に第1回会合を開催いたしました。

第5期は、『子どもの心の育ち』についてどのように考えるのか，また，育ちの連続性を支えるには，就学前施設と小学校がどう連携していけばよいのかを探求していきます。



まずは，少人数で語り合う中で研究メンバーがお互いを知り合うこと，保幼小連携・接続の取組状況について情報交換を行うことから始めています。

子どもを育む喜びを感じ，
親も育ち学べる取組を進めます。

[京都市はぐくみ憲章]より



この印刷物が
不要になれば
「雑がみ」として
古紙回収等へ！



発行日 令和元年9月25日
発行者 京都市子育て支援総合センターこどもみらい館
〒604-0883 中京区間之町通竹屋町下る楠町 601-1
Tel : (075)254-5001 Fax : (075)212-9909
URL : <https://www.kodomomirai.city.kyoto.lg.jp/>